

(6月定例区議会)



**永沼議員** 区民ニーズに  
えるため、仕事の迅速化、  
効率化等の行政改革が求め  
られる。新設の「しごと連  
携担当室」の具体的な役割  
や公民連携等の強化をどう  
進めるのか。

**やまだ区長** 庁内の横断的  
な課題の調整や連携を推進  
する。また、公民連携にお  
いては、所管課だけでなく、  
担当室も分野を問わず幅広  
く関与する。

**保育所の新たな課題**

**永沼議員** 保育園の新たな  
課題である保護者の負担軽  
減や定員割れを解消する為  
に、従来の条件で通えな  
かった子どもが誰でも通園で  
きるシステムを構築すべき  
と考える。

**教育長** 定期的な預かり事  
業実施の準備や国が取組を  
推進する(仮称)こども誰  
でも通園制度の導入に向  
け検討を進め、子育て家庭  
の支援の充実を目指す。  
**永沼議員** スマートフォン  
等の使用が子どもの学力低  
下を招く研究結果が出てい  
る。有害性について区の見  
解と取組は。

**教育長** 全国学力・学習状  
況調査からも影響を確認し  
ている。児童生徒や保護者  
への指導・啓発が必要と考  
え、周知と共に指導方法を  
研究する。

**永沼議員** 北区在住で、都  
立特別支援学校に通ってい  
る児童・生徒の給食費支援  
について、公平性の観点か  
らも支給すべきではないか  
と考える。

**教育長** 各学校の給食費の  
状況等を調査したうえで、  
必要な支援の実施に向けて  
検討する。

**本格化するまちづくり**

**永沼議員** 本格化する駅周  
辺のまちづくりにおいて、  
エリアマネジメントや地域  
特性を活かし未来を見据え  
た「まちを育てる」視点が  
重要と考える。区の考えと  
具体的な取組について見解  
は。

**自民党要望の  
幼稚園給食費  
無償化を実現!**



令和5年  
第2回定例会  
報告

やまだ区長就任後初の  
補正予算を可決

区独自の物価高騰対策や子育て支援拡充など

令和5年第2回定例会において、やまだ区長就任後初の補正予算(約16億8千万円)や新たな副区長2名の選任などを可決。補正予算により物価高騰対策として、低所得世帯に区独自の給付のほか、エネルギーコストや食材費高騰の影響を特に受ける福祉施設や医療機関等への独自の給付を行う。

また、既に実施している区立小中学校の給食費無償化を恒久化するとともに、幼稚園等の給食費の無償化を実現。7月より「子どもなんでも窓口」を新たに開始し、区内にある児童館および子どもセンター、ティーンズセンターの全館において子ども子育て相談事業を拡充する。保護者からの相談に加えて小中高校生本人からの悩み相談を充実させ、専門相談員やオンライン(LINE・ZOOM)も活用する。

自民党要望が実現

**● 自転車用ヘルメットの購入補助**  
道路交通法の改正により全年齢の自転車用ヘルメット着用が努力義務となったのを受けて、区在住者に自転車用ヘルメットの購入補助を8月1日より開始。  
●補助額●  
3,000円(小学生以下・65歳以上の方)  
2,000円(上記以外の一般の方)  
●方法●  
区指定の協力店で購入時に身分証を提示し申請すると、補助額が値引きされます。



**● 25%プレミアム区内共通商品券**  
物価高騰対策および区民生活の支援として、高齢者の方と子育て世帯向けに、区内共通商品券の発行を例年より規模とプレミアム率が拡充され販売されます。  
●販売予定日・対象者●  
9月9日(65歳以上の方)  
12月2日(15歳以下の子どもがいる世帯)  
●内容●  
12,500円分商品券を10,000円で販売



**● インボイス制度の相談窓口設置**  
今年10月の本格実施に向け、区内中小事業者を対象に無料相談窓口を開設。区内産業関係団体と連携してインボイス制度の更なる周知ときめ細やかな相談体制を設置しました。  
●相談時間●  
毎週月曜～金曜の午後1時～3時(祝日を除く)※予約制  
●場所●  
北とぴあ12階



**永沼議員** 区内産業の活性化について、産業支援の一つとして、契約制度の検討・改善に取組むべきである。区発注工事における総合評価方式の更なる改善と充実について見解は。

**垂直避難について**

**永沼議員** 大規模水害時の高台への避難場所の更なる確保や垂直避難の柔軟な対応を求め、運搬事業者との避難協定において費用負担をどう考えるか。

**区長** 高台にある私立学校等を含め避難場所を新たに確保し、垂直避難を可能とするよう、避難先の考え方を見直す。区の要請で事業者が実施した業務等に要した費用は区が負担する。

**永沼議員** 歯科口腔保健対策は、幼児期から高齢期まで継続的に取組む必要がある。多くの自治体で制定されている口腔健康増進条例の制定について見解は。

**永沼議員** 新型コロナウイルス類移行に伴い、デジタルデバイスの方に受診可能な医療機関や受診の注意事項などを伝える配慮が必要だ。

**金田よしあき議員の一般質問要旨**

**金田議員** 6月の台風2号の際、防災無線の放送が聞こえなかったとの指摘があった。新たな手法を用いた伝達手段が必要ではないか。

**区長** 防災無線の内容をホームページ等、デジタルで発信するとともに、65歳以上の希望者に個別受信機を配布するなど、区民に届ける仕組みを構築する。

**金田議員** 木密地域での老朽家屋の解体費用の助成金拡充が必要であり、不燃化特区制度の令和8年度以降の延長を求める。

**永沼議員** 今後の新興感染症の対応について改善点や課題を検証し、計画とマニュアルの作成を積極的に進めるべきではないか。



**金田議員** 地域貢献型空き家利活用モデル事業の適用条件の緩和と、積極的なマッチングや啓発の検討を。

**区長** 行政書士団体などと連携を図り、相談会やセミナー実施など、積極的に周知活動を展開していく。要件も、より利用しやすい制度の検討を進める。

**金田議員** 都電梶原停留場の三ノ輪橋方面のホームを、梶原銀座商店街側へ移設し、ホーム位置を統一するよう、都へ強く働きかけを。

**区長** 地元要望を受け、歩行空間の確保や、明治通りとの接続部ボルトネットク解消に向けて平成29年7月に都へ移設の要望を行って来ている。区として引き続き都へ移設を求めていく。